事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

1 事業有等の作	<i>y</i> L <i>y</i> Z									
氏名又は名称			リゾ	ートトラ	スト株式	 会社				
代表者名	氏	名	伏見 有貴	役職名		代表取締役社長				
主たる事務所 の所在地			名古	屋市中区	区東桜2−18	3-31				
主たる事業の分類	大分	分類	N	AI 宿泊業	(飲食サ	ービス業				
	中分	分類		7	' 5 宿泊美	業				
主たる事業 の概要	宿泊	宿泊業								
	<	条例第12条第1	別第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者							
制度に該当する		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者								
要件		条例第12条第1項第2号に該当する事業者								
		上記以外(任意	記以外(任意提出)の事業者							
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	度報告	第二年度報告	第三年度報告			
原油換算エネル ギー使用量	k1	5, 427	5, 264		5, 052	5, 809	5, 745			
エネルキ゛ー起源二酸化 炭素排出量	t- CO ₂	12, 158	11, 793		11, 191	12, 666	12, 544			
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0			0	0	0			
自動車の台数	台	27			27	27	27			
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂	176								

9	基準年度	計画期間及び報告対象年度
4	太上二十八分	

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度~	2022	年度
却生計角							

報告対象 年度 2022 年度

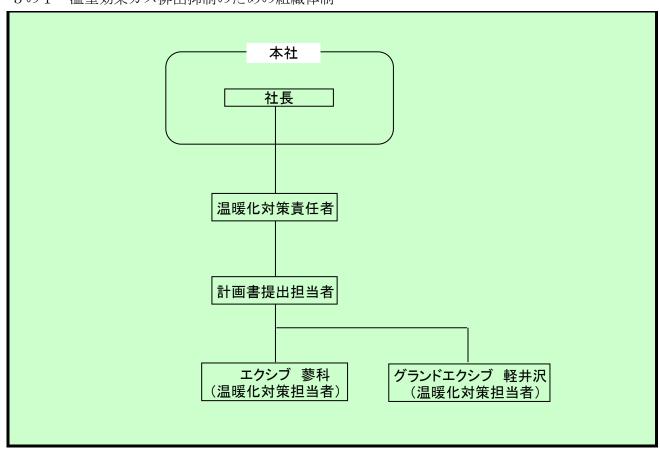
3 計画書(報告書)の公表方法等

_			
		ホームページ	
	\ \		エクシブ蓼科(0266-71-8270) グランドエクシブ軽井沢(0267-46-4439) 共に9~18時 施設管理にて閲覧可能
		その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

リゾートトラスト株式会社は「夢と感動と安らぎ」を提供し最上級のホスピタリティの実現のために、会員制リゾート事業をはじめとするさまざまな事業活動を通じて常に価値あるサービスを提供する事に努めています。私たちはそれらを実現する為の企業活動が、地球環境に様々な影響を与えている事を認識し、環境との調和を図り、社会との共生に勤めながら、社会や地球環境に貢献します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・クレンリネス会議・・・月1回
- ・施設管理ミーティング・・・隔月年6回

6の1 エネルギー	起源二酸化炭素の排出抑制	に係る目標及び実績
-----------	--------------	-----------

6 の 1	エネ	レキ	一起源二酸化炭素	素の排出抑制に	係る目	標及び実績			
基 準	年月	Ť	基準排出量	12, 158	t-CO ₂	宿泊人数	227. 10	単位	千人
2019	年度		調整後排出量	12, 158	t-CO ₂	基準原単位	53. 54	t-CO ₂ /	千人
目 標	年月	Ŧ	目標排出量	11, 793	t-CO ₂	目標原単位	51. 93	t-CO ₂ /	千人
2022	年度		目標削減率	3.00	%	目標削減率	3. 00	%	
目標記		存 既	が消人数の変動に。 近に削減努力をして	よりエネルギー ている為、3年	-使用量 =間で3	が密接に変化する %の抑制達成を目	る為、基準原 目標とします	〔単位に 。	設定
第一	在庶		排出量	11, 191	t-CO ₂	宿泊人数	190. 36	単位	千人
NA	T/X		削減率	7. 95	%	原単位	58. 79	t-CO ₂ /	千人
2020	年度		調整後排出量	11, 191	t-CO ₂	原単位削減率	-9. 81	%	
2020	十戌		削減率	7. 95	%				
排出量 増減									
第二	年度		排出量	12, 666	t-CO ₂	宿泊人数	234. 79	単位	千人
	1 22		削減率	-4.18	%	原単位	53. 95	t-CO ₂ /	千人
2021	年度		調整後排出量	12, 666	t-CO ₂	原単位削減率	-0.77	%	
5051	1 2		削減率	-4. 18	%				
排出量 増減		客	芸数増加の為。						
第三	 年度		排出量	12, 544	t-CO ₂	宿泊人数	272. 10	単位	千人
ガー	十/又		削減率	-3. 18	t-CO ₂	原単位	46. 10	t-CO ₂ /	千人
2022	年度		調整後排出量	12, 544	t-C02	原単位削減率	13. 89	%	
4044	十戊		削減率	-3. 18	%				
目標の 況及び の増減	排出量	洞	数増加の為、3年 なすることが出来が		排出量的	削減率は達成出来	なかったが、	原単位	を削

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

6002エネルキー	一起 你一	の温至効果	シカスの	排出抑制に係る目標及	(0) 美額
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
第一个 反	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2020 平度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
<i>7</i> ,1—1/2	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2021 +/2	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
勿二十 反	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2022 平度	削減率		%		
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動	動車の使用に伴う二酸	化炭素の排出抑制に	[係る]	∃標及び実績	
基 準 年	度基準排出量	176	t-CO ₂		単位
2019 年月	度	1.0	0 002	基準原単位	$t-\!CO_2/$
目 標 年	度目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年月	度 目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定は関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
第一 十段	外山里		t CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2020 年月	度 削減率		%	原単位削減率	%
排出量等 <i>0</i> 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位
				原単位	t-CO ₂ /
2021 年月	度 削減率		%	原単位削減率	%
排出量等 <i>0</i> 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
为一 十及	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		002	原単位	t-CO ₂ /
2022 年月	度 削減率		%	原単位削減率	%
目標の達成 況及び排出 の増減理由	量				

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$\mathrm{I} \sim \mathrm{II}$	I -1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	Ⅲ-1	次世代自動車の 導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の 導入						

様式1号 (総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区分			計画		状況
番号	区分	番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299	空調機熱源機器更新	2020		2020	
2	エネ起	160103	搬入用油圧エレベーターをロープ式に交換			2020	0.955
3	エネ起	330299	レストラン空調機器更新			2021	
4	エネ起	150201	ラウンジ照明LED化			2021	1. 334
5	エネ起	120302	冷温水ヘッダー差圧弁の自動制御化			2021	3. 252
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	第一年度		第二年度		第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	
3,000k1以上					1	6, 972			
1,500k1以上 3,000k1未満	2	12, 158	2	11, 191	1	5, 694	2	12, 544	
1,500k1未満									
合計	2	12, 158	2	11, 191	2	12,666	2	12, 544	

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	27	27	27	27
次世代車導入割合				

13 交通対策状況

区分	実施内容		
	JR軽井沢駅、信濃鉄道御代田駅(GW、7月中旬~8月)		
自 転 車の利用促進	自転車利用困難地域の為実施なし		
来 客 者 の 交 通 対 策	軽井沢送迎バス 日9便往復 蓼科送迎バス 日6便往復		
物流の合理化	一部納品、通い箱		

14 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容	実施年度	
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称 IS014001	2005年度	
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
	RE100	□ RE100にコミットしている		
		□ 再エネ100宣言RE Action へ参加している		
	その他			

1 5	自由記載欄